

台湾・TSMC社から「Best Delivery Support Award」を受賞

大日本スクリーン製造株式会社は本日、世界最大の半導体ファンドリー[※]のTSMC社(本社：台湾・新竹市/会長兼CEO：Dr. Morris Chang)から、2009年度「Best Delivery Support Award」を受賞しました。

近年の半導体業界では、チップの高集積化や回路線幅の微細化に伴う開発サイクルの短縮やコストの増大などにより、デバイス製造の在り方が大きく変化しています。これまで開発から生産までのすべてを自社で行ってきた世界の半導体デバイスメーカーは、より効率の良いファブレス化、ファブライト化を進めるようになり、これらを一手に受託し生産を行うファンドリーが、ますます注目されるようになっています。

このような動向を背景にTSMC社は、世界の半導体製造を支えるファンドリーとして一層の存在感を發揮しており、同社が誇る最先端のウエハー・プロセス技術や卓越した製造効率により、業界における世界的な地位を揺るぎないものにしています。

「Best Delivery Support Award」は、TSMC社が開催しているサプライヤーチェーンマネジメントフォーラムにおいて、「製品」「技術」「デリバリー」の3つの分野で同社の躍進に最も寄与したサプライヤーに授与する賞の一つです。当社が受賞した「デリバリー」分野では、同社の要求をクリアした製品をいかに迅速に納め、効率良くセットアップしたか、安定的に稼働させているかなどに主眼を置いて、四半期ごとに厳正な審査が行われます。当社は、同社のレベルの高い要求に応える数多くの半導体洗浄装置を納入し、生産性の向上に大きく貢献。装置の納品から稼働まで、同社をあらゆる面でサポートする総合的なサービス体制が高く評価されました。また、今回の受賞では、当社グループの株式会社SOKUDOによる液浸露光対応の塗布現像装置による貢献も、大きな要素となりました。

当社は、半導体産業の成長を支える企業の一つとして、今後も顧客と一層強固な関係を築き、台湾市場をはじめ世界規模での販売・サービスの積極的な展開を図り、さらなるシェアの拡大を目指します。

※ ファンドリー (受託製造)

製造設備を持たない半導体メーカーから設計データを受け取り、半導体チップの製造を専門に請け負う企業。

■ TSMC社 (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company, Ltd. / 台湾積体電路製造股份有限公司)

1987年設立。台湾・新竹市に本社を置く、世界最大の半導体専門ファンドリーメーカー。2007年のウエハー生産能力は800万枚(8インチウエハー換算)を超え、売上高は世界の半導体専門ファンドリー市場の約50%を占める。サプライヤーチェーンマネジメントフォーラムとは、同社が有力なサプライヤーを集めて、年間の業況報告や今後の方針説明などを行う集会。このフォーラムの中で、優秀なサプライヤーに対する表彰式が開催される。

URL：www.tsmc.com